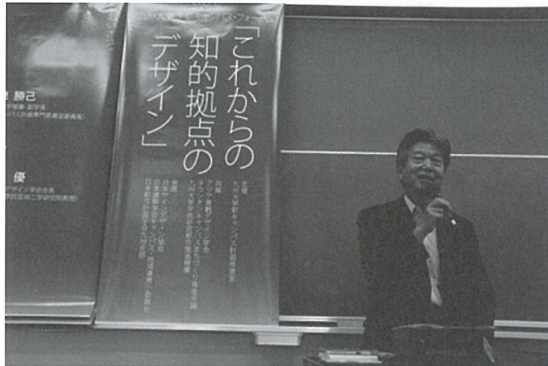


2009年7月19日、九州大学伊都キャンパスにおいて、アジア景観デザイン学会夏季大会として、九州大学伊都キャンパス・フォーラム「これからの知的拠点のデザイン」を開催し、市民や学生を含む約250名が参加した。司会は、鶴崎直樹准教授(九州大学)が担当した。以下は、その要旨である。

□挨拶

今泉勝己(九州大学理事/副学長、
新キャンパス計画専門委員会委員長)
佐藤 優(アジア景観デザイン学会会長/
九州大学大学院 芸術工学研究院 教授)



今泉勝己副学長(九州大学)

□記念講演

「都市と大学-九州大学伊都キャンパス」

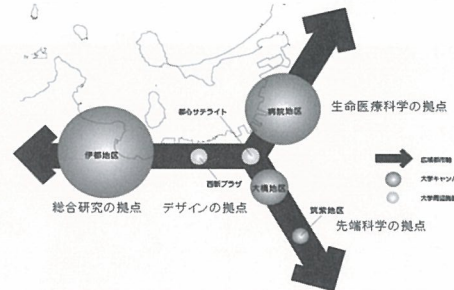
有川節夫(九州大学総長)

- 大学は都市と共に栄え、市民の誇りになり、頼りにされる大学として発展しなければならない。
- 都市との連携をはかり、これから100年先を見据えた後に、50年先、30年先と同意を得つつ、キャンパス整備を行っていききたい。
- 九州大学が国から支給される費用である運営費交付金は、収入の36.2%を占める。
- 九州大学が地域に与える経済効果は、年間2,500億円、運営費交付金の5倍と推定される。これだけの経済効果を都市にもたらしていることになる。
- 九州大学の力として、九つの力(体力、気力、学力、分析力、総合力、創造力、交渉力、国際力、指導力)を

あげており、この九大力で今後の九州大学の発展につないでいきたい。



有川節夫総長(九州大学)



九州大学の構造

□記念講演

「福岡市の都市戦略と大学のあるまちづくり」

吉田宏(福岡市長)

- 福岡の持つ資源を最大限に活かしつつ、アジアとの交流都市づくりを行っている。
- 中国のクルーズ船の寄港を、2010年は60回にして、中国の富裕層を福岡に呼び込みたいと考えている。
- 半径2,000km圏内に10億人がおり、その中心に福岡がある。
- 新たな拠点づくりとして、港を望むビジネスゾーンとしてアイランドシティがあり、西の「知」「住」「悠」の拠点として九大学研都市が位置づけられる。
- すでに、大学周辺には福岡市産学連携交流センターを整備しており、学園通り線の1.4kmの整備を今年からは始めている。産学連携交流センターは当初から満室であり、第2のセンターを建設したいと考